

すわり込みを支援

東京で「チッソ糾弾集会」

水俣病新認定患者・家族の川本輝夫さん(四〇)ら代表は、いぜん「自主交渉」を求めてチッソ本社

内すわり込みを続けているが、これを支援する東京・水俣病を告発する会の「チッソ糾弾集会」が、十八日午後一時半から東京・中央区の常磐公園に同会員など百二十人が参加して開かれた。

すわり込み患者側から川本さんから四人、それに十八日上京した訴訟派の渡辺榮蔵さんら二人も顔を出し、川本さんは「人間の尊厳を訴えてすわり込みを続ける」とあいさつした。なお川本さんらは同日午前十時半、目黒区東山の友愛病院に入院中の島田チッソ社長の見舞いに出かけたが、同病院で応対したチッソ社員は「社長は絶対安静で、面会謝絶だから」と社長との面会を拒んだ。(東京支社)